

高岡の都市計画



- 1. 都市計画とは**
- 2. 高岡市の現況と課題**
- 3. 高岡市が目指すまちづくり**
- 4. 市街化調整区域での土地活用**

都市計画とは

＜市街化調整区域＞

農地を大切にし（市街化を抑制し）、乱開発が行われないようにする区域

都市計画区域

区域区分（線引き）

市街化調整区域

市街化区域

＜市街化区域＞

すでに市街地を形成している区域と、おおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域

住宅地

商業地

住宅地

公園

用途地域

道路

都市施設

都市計画とは

45年で、どのように変わったでしょう？

1977年



2022年



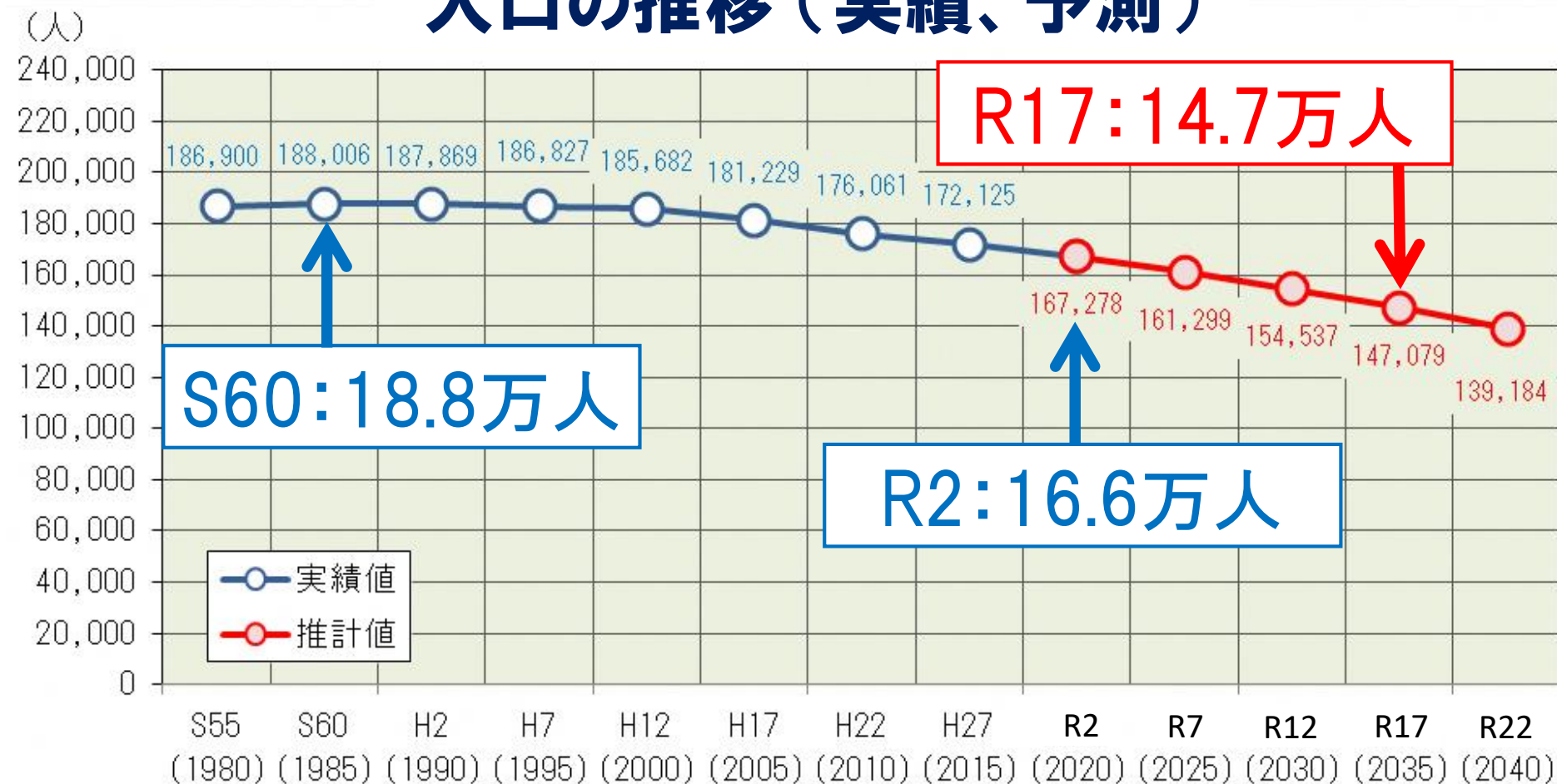
出典：地理院地図

**市街化区域は順調に開発が進み、
市街化調整区域は農地が守られています。**

高岡市の現況と課題

R2から15年で**11%(1.9万人)**減少

人口の推移（実績、予測）



高岡市の現況と課題

市街地の人口の低密度化が進行

人口集中地区(DID)

■ S45年DID

■ H27年DID

DID面積の推移(S45→H27)

市街地が**2倍**に拡大

人口密度は**1/2**に

- ・身近な生活サービスが維持困難
- ・市街地の求心力の低下

出典:国勢調査

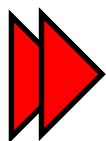
高岡市の現況と課題

このまま都市が拡大し続けると
インフラや公共施設の維持が難しい

特に**課題**と
なるのが..



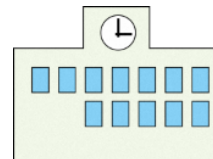
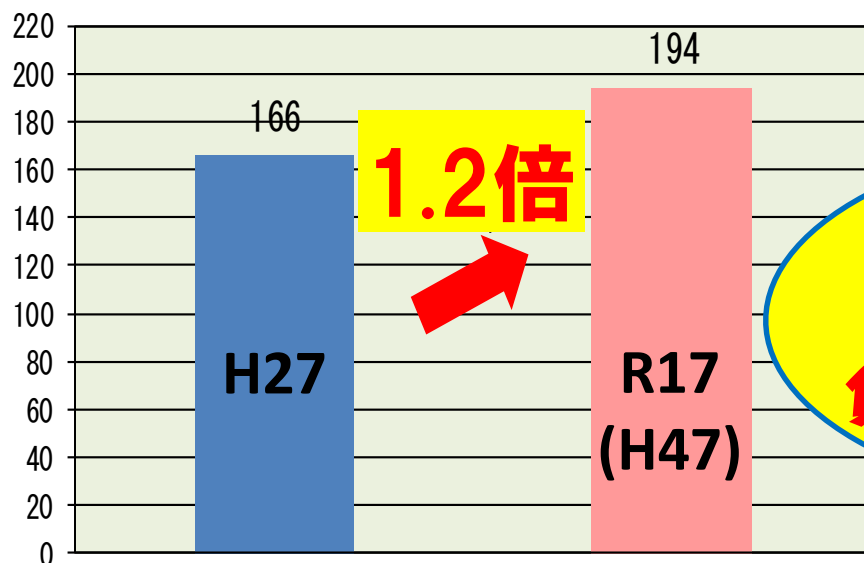
インフラの維持



公共施設の適正配置



1人当たりの行政コスト



今の行政サービスの
維持に**1人当たりの
負担が1.2倍になります**



高岡市が目指すまちづくり

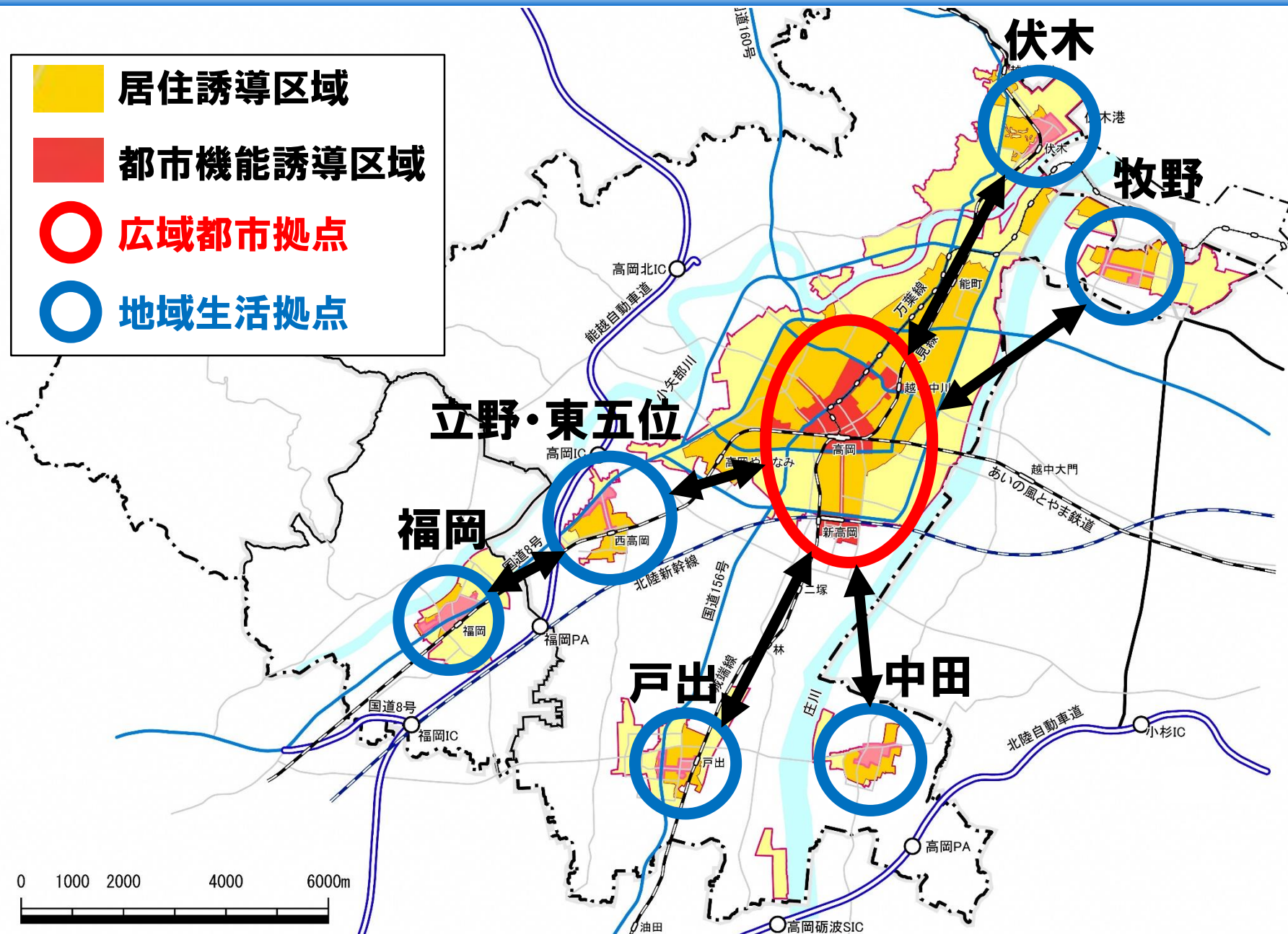
コンパクト・アンド・ネットワーク

原則、市街地をこれ以上拡大することなく、
市街地の外側に広がる農地や自然地の保全を図りながら、人口減少・少子高齢社会の中でも持
続可能な都市づくりを目指す

20年後には
どんな都市に？



高岡市が目指すまちづくり



高岡市が目指すまちづくり

■ 金屋町（千本格子の家並み）



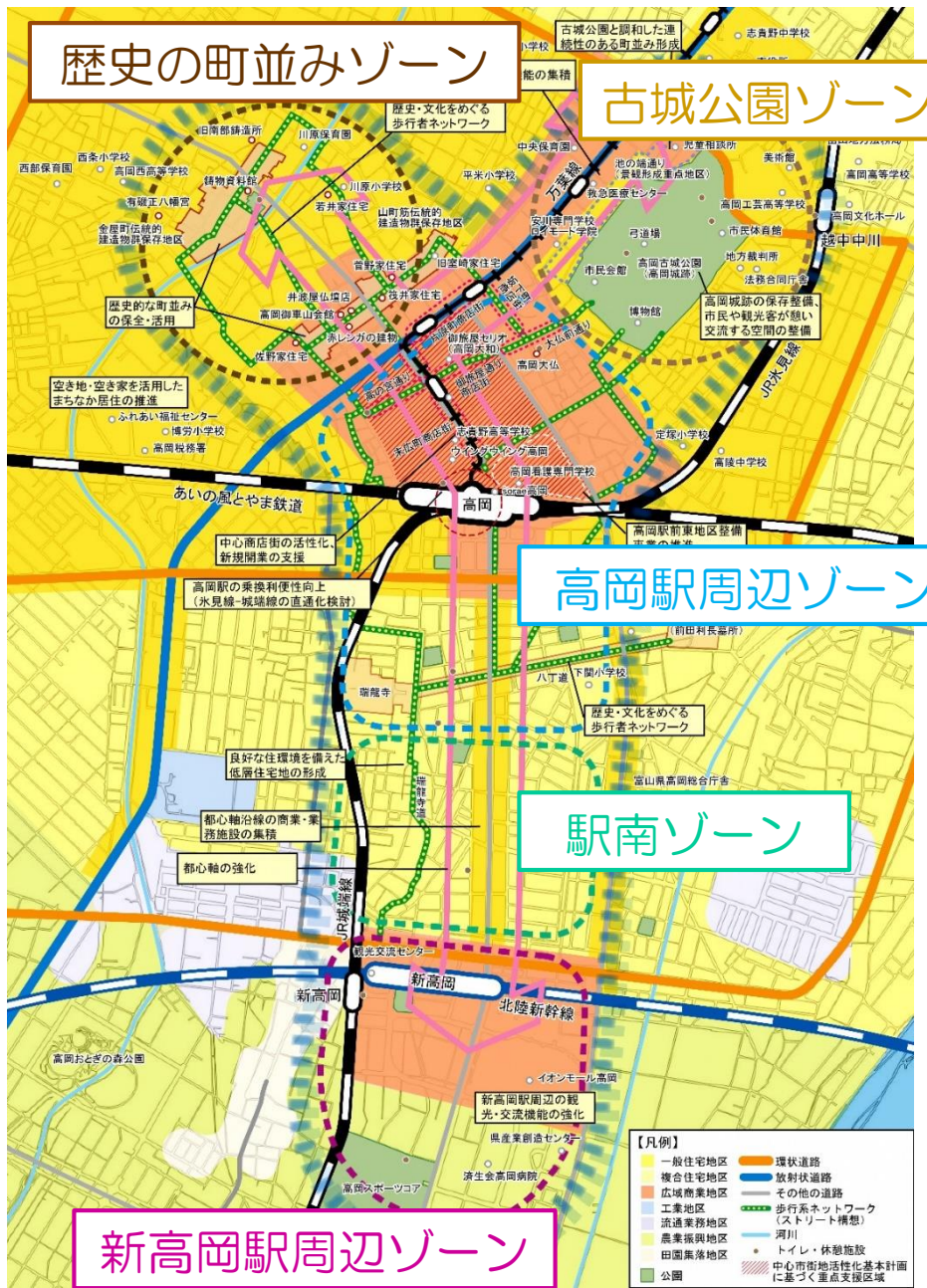
■ 山町筋（土蔵造りの町並み）



■ 赤レンガの建物



■ 瑞龍寺道



■ 高岡古城公園（高岡城跡）



■ 高岡大仏



■ 瑞龍寺



■ 加賀藩主前田家墓所(前田利長)



高岡市が目指すまちづくり

まちづくりのコンセプト

飛越能地域の玄関口として

「来る人」を温かくもてなすまちづくり

- 大都市圏と飛越能地域との広域的な交通結節点として、
交流・観光機能を中心とした高次都市機能の誘導を図るゾーン

商 業

交流・観光

業 務

新幹線利用に
つながる機能

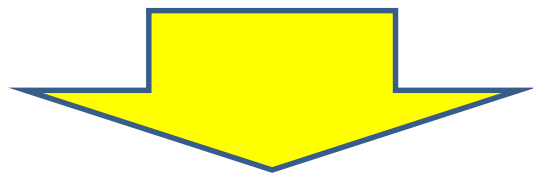
既存施設の
関連機能

市街化調整区域での土地利用

無秩序な市街化の拡大を抑制

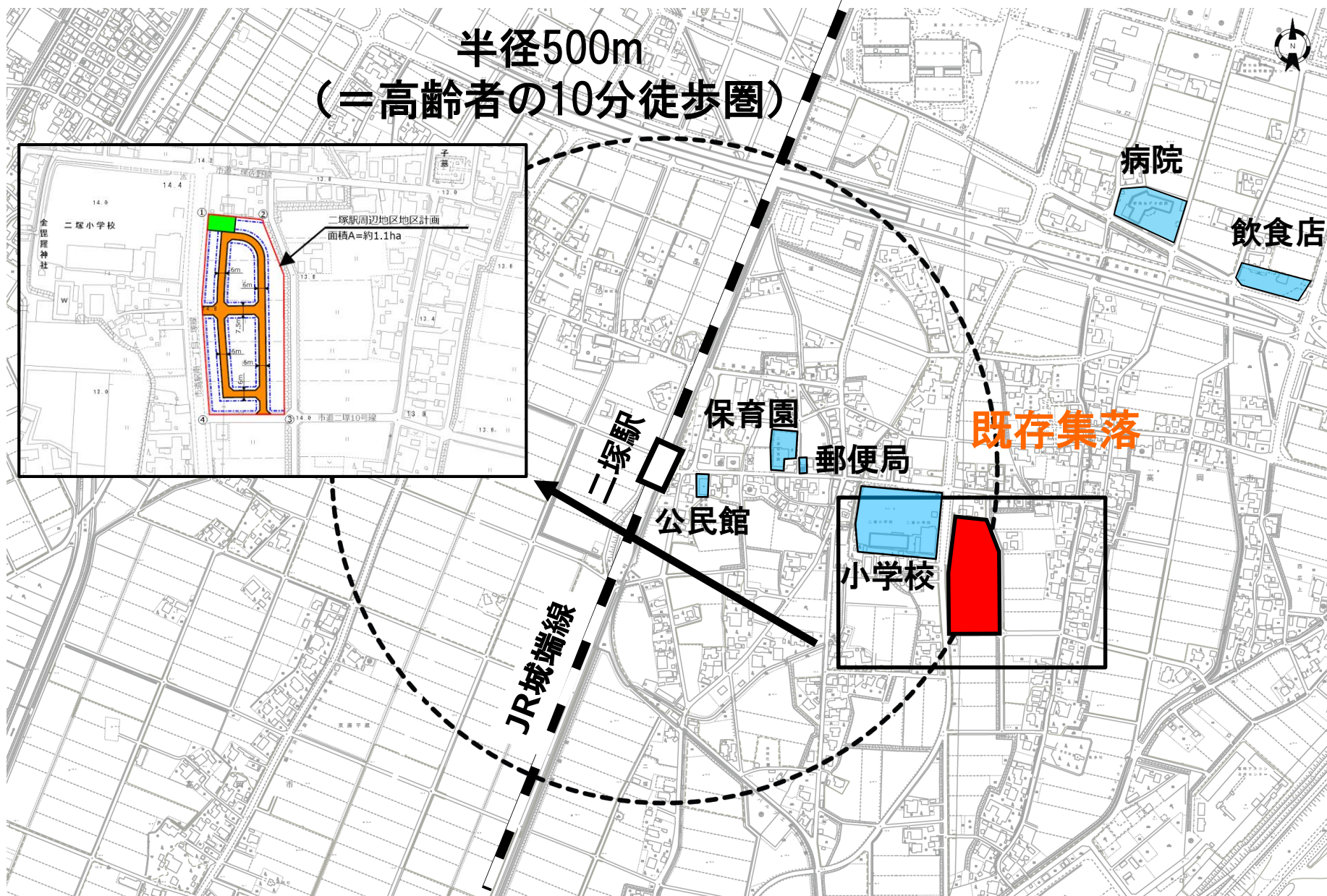
農林漁業に必要な用地の確保

都市に必要な自然環境を保全



一定の制限のもとで建物を建てることになる

※取扱注意



まとめ

- ・農地を宅地化 ≠ ゴール
- ・持続可能なまちとするには、住みたいまちへ

行政や事業者等、多様な主体と連携した

住民主体のまちづくりの推進